平衡反応評価(1)

患者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

坐位 (背もたれなし)		検査日	／	／	／
	1,介助なくして保持不可能				
	2,上肢による支持・手すり等に掴まれば可能				
	3,独力で保持可能・外力には抗せない				
	4,坐位保持時間計測(最大 30 秒まで)				
	他動的に push して元の位置に戻れる.	5,前方へ肩を push			
		6,後方へ肩を push			
		7,右方へ肩を push			
		8,左方へ肩を push			
	下肢を挙げて 2～3 秒保持できる.	9,右下肢を挙げる			
		10,左下肢を挙げる			
		11,両下肢を挙げる			
小計　保持不可能は 0 点　その他は 1 動作 1 点					

＜備考＞

【坐位保持時間の判定基準】

安定：30 秒以上，体軸の傾斜や動揺が大きくなく，垂直に保持することができる.

軽度：30 秒以上保持できるが，体軸の傾斜や動揺が大きくみられる.

中等度：30 秒以上保持することができない.

重度：短時間の保持すらできない.

平衡反応評価(2)

患者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

四つ這い位 股関節屈曲 90 度 膝関節屈曲 90 度 足関節底屈位		検査日	／	／	／
	1,介助なくしては保持不可能				
	2,一上肢または両上肢を介助すれば保持可能				
	3,独力で保持可能・外力には抗せない				
	4,四つ這い保持可能時間計測(最大 30 秒間)				
	他動的に push して元の位置に戻れる	5,前方へ尻を push			
		6,後方へ頭・肩を push			
		7,右方へ骨盤を push			
		8,左方へ骨盤を push			
	上肢・下肢を次のような組み合わせで上にあげて 2～3 秒以上保持可能	9,右上肢を挙げる			
		10,左上肢を挙げる			
		11,右下肢を挙げる			
		12,左下肢を挙げる			
		13,右上肢と左下肢を挙げる			
		14,左上肢と右下肢を挙げる			
		15,右上肢と右下肢を挙げる			
		16,左上肢と左下肢を挙げる			
小計　保持不可能は 0 点　その他 1 動作 1 点					

＜備考＞

【四つ這い位保持時間の判定基準】

安定：30 秒以上，体軸の傾斜や動揺が大きくなく，垂直に保持することができる.

軽度：30 秒以上保持できるが，体軸の傾斜や動揺が大きくみられる.

中等度：30 秒以上保持することができない.

重度：短時間の保持すらできない.

平衡反応評価(3)

患者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

膝立ち位 股関節屈曲 0 度 内外旋 0 度 足関節底屈		検査日	／	／	／
	1,介助なくしては保持不可能				
	2,一上肢または両上肢を支持すれば保持可能				
	3,独力で保持可能・外力には抗せない				
	4,膝立ち保持可能時間計測(最大 30 秒間)				
	他動的に push して元の位置に戻れる	5,前方へ肩を push			
		6,後方へ肩を push			
		7,右方へ肩を push			
		8,左方へ肩を push			
小計　　保持不可能は 0 点　その他 1 動作 1 点					

＜備考＞

【膝立ち位保持時間の判定基準】

安定：30 秒以上，体軸の傾斜や動揺が大きくなく，垂直に保持することができる.

軽度：30 秒以上保持できるが，体軸の傾斜や動揺が大きくみられる.

中等度：30 秒以上保持することができない.

重度：短時間の保持すらできない.

平衡反応評価(4)

患者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

片膝立ち位 右・左下肢を前に立てる 股関節屈曲 90 度 内外旋 90 度 足関節背屈		検査日	／	／	／
	1,介助なくしては保持不可能				
	2,一上肢または両上肢を支持すれば保持可能				
	3,独力で保持可能・外力には抗せない				
	4,膝立ち保持可能時間計測(最大 30 秒間)				
	他動的に push して元の位置に戻れる	5,前方へ肩を push			
		6,後方へ肩を push			
		7,右方へ肩を push			
		8,左方へ肩を push			
小計　保持不可能は 0 点　その他 1 動作 1 点					

＜備考＞

片膝立ち位保持時間の判定基準

安定：30 秒以上，体軸の傾斜や動揺が大きくなく，垂直に保持することができる.

軽度：30 秒以上保持できるが，体軸の傾斜や動揺が大きくみられる.

中等度：30 秒以上保持することができない.

重度：短時間の保持すらできない.

平衡反応評価(5)

患者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

立位 (足をややひらいて)		検査日	／	／	／
	1,介助なくしては保持不可能				
	2,一上肢または両上肢を支持すれば保持可能				
	3,独力で保持可能・外力には抗せない				
	4,膝立ち保持可能時間計測(最大 30 秒間)				
	他動的に push して元の位置に戻れる	5,前方へ肩を push			
		6,後方へ肩を push			
		7,右方へ肩を push			
		8,左方へ肩を push			
	9.爪先立ちで 2～3 秒以上安定して保持可能				
	10,踵立ちで 2～3 秒以上安定して保持可能				
	11,Romberg 試験(最長 30 秒間)				
	12,Mann 試験(最長 30 秒間)				
	13,上肢到達動作 functional reach(FR)				
小計　　保持不可能は 0 点　その他 1 動作 1 点					

＜備考＞

＜判定基準＞

Romberg および Mann 試験

正常：閉眼と開眼時において保持時間に差がなく，動揺の増加も見られない.

陽性＋：閉眼によって，わずかに同様の増加がみられるが，転倒することはない.

陽性＋＋：閉眼によって，動揺が著しく増加するが，転倒することなく 30 秒間保持できる.

陽性＋＋＋：閉眼によって短時間，保持すらできない.

片足立位 (右・左下肢をあげる)		検査日	／	／	／
	介助なくしては保持不可能				
	一上肢または両上肢で支持すれば保持可能				
	独力で保持可能	1～2 秒可能			
		2～5 秒可能			
		5 秒以上可能			
小計　　保持不可能は 0 点　その他 1 動作 1 点					

＜備考＞